

# 景観

LANDSCAPE

# 観

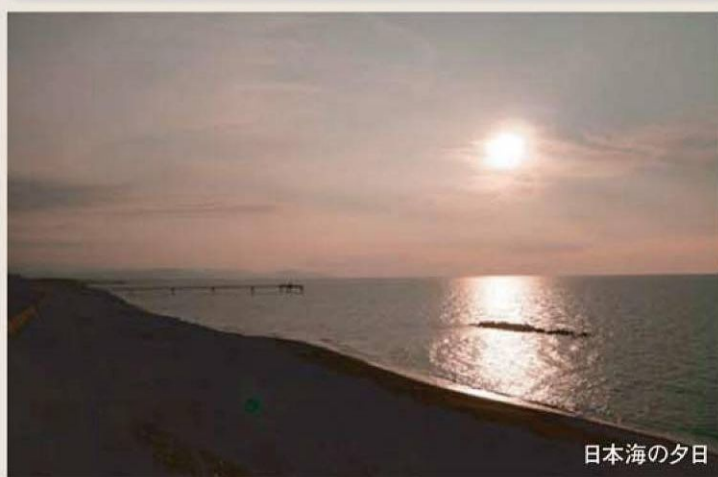
## KEIKAN

上越人のDNAを探る

上越市  
景観情報  
2011. 3



上越市の景観は、豊かな自然や歴史文化、暮らしに支えられています。  
そこに暮らす多くの人が心地良いと感じる景観は市民の宝物＝「景観資産」です。  
皆さんも、お気に入りの景観を見つけ、大切に作る取り組みを始めてみませんか。



## 参加

### 景観資産の特定に向けて

市では、優れた景観の写真を平成21～22年度にかけて募集し、景観写真展を開催いたしました。景観写真展では、今後に残しそだてたい景観についてアンケートを実施しました。これまで景観デザイン賞で表彰されてきた景観などとともに、景観資産の候補をリストアップしており、今後、景観資産を特定し、市民の皆さんへ公表していく予定です。

#### 景観資産の4つの条件

- 資産としての価値が見出されているもの
- 地域の人々に共感され、大切にされているもの
- 誰もが認識できるもの
- 上越市のまちづくりにとって役立つもの

皆さんも一度、訪ねてみませんか。

きっと上越の景観の素晴らしさを再確認できると思います。

## ① 豊かな自然（山岳、水辺、樹木など）

### 応募作品 米山・朝日・水田



#### 【応募者のコメント】

田植えが終わったばかりの田んぼに米山から昇る朝日が映ります。何気ない越後の田園風景ですが、この穏やかさが1日の平和と秋の収穫を運んでくれるのです。いつまでも残って欲しい頸城野の朝の風景です。

#### 【アンケートより】

米山から昇る朝日が田植えの済んだ水田に映り、1日の始まりとこれからの希望を感じさせてくれる作品でした。



### その他の候補 中郷区から見る妙高山

市内のどの地区でも、「あの山に三度雪が降れば、里にも雪がやってくる」という言い伝えがあります。

平野の農村部では妙高山の「跳ね馬」を眺め、種まきの適期を知ろうとする知恵や、山を見て天気を占うといった伝承が受け継がれています。

## ② 地形特性に依じた集落・まちなみ・田園風景

### 応募作品 道のくいちがいが今も残る雁木道



#### 【応募者のコメント】

城下町高田の町は、碁盤目割で造られていますが、見通しを防ぐなど防備上の欠陥を補うために、わざと道をくいちがわせています。加賀街道と奥州街道の交差点である本町7丁目でも見られます。

#### 【アンケートより】

郷土の歴史が今も残っており、観光資源としても活用できます。

### その他の候補 牧区七森の棚田

山間部の耕作地では、（等高線に沿って）斜面を巧みに利用し、人々の暮らしの知恵が活かされた、美しい棚田が望めます。



景観写真展のアンケートで共感を得た景観の一部（**応募作品**）と、その他の景観資産の候補と考えられる例（**その他の候補**）を紹介します。

### ❁❁ ③ 歴史と文化に彩られた建造物・工作物

#### 応募作品 五智国分寺三重の塔



#### 【応募者のコメント】

永禄5（1562）年に信義に厚かった上杉謙信によって再興したと伝えられる名刹五智国分寺は、度重なる火災を被りました。三重の塔は安政3（1856）年に着工、明治時代中頃に上棟しました。謙信の義の心を後世に伝える町づくりに活用したいと思います。

#### 【アンケートより】

この近くに住んでおり、よく見に行く所です。新緑の頃でしょうか、まわりの緑との調和が素晴らしいと思います。青空もほんのりと写っており、いいアクセントになっています。

#### その他の候補 高田城跡

高田城は慶長19（1614）年に築城されましたが、明治時代に焼失し、現在は本丸跡に高田城三重櫓が復元されています。高田城跡は、春には約3,000本の桜が咲きほこる高田公園として整備され、夏の蓮を映し出す堀、草木に覆われた土塁は当時の面影を今に伝えており、市民の散策や憩いの場になっています。



### ❁❁ ④ 人々の暮らし・活動

#### 応募作品 高田の朝市



#### 【応募者のコメント】

いつまでも続いて欲しい、昔からの生活の源である高田の朝市です。

#### 【アンケートより】

- 雪国を元気に暮らす人々のエネルギーを感じます。
- にぎわう朝市の景観を多くの人に知って欲しいです。

#### その他の候補 安塚スノーフェスティバル

上越地方は豪雪地帯であり、雪は人々の暮らしにとって大きな負担もありましたが、近年は「雪」の持つ魅力や利点を活かし、雪景色や雪を利用した商品の開発などが行われています。

市では「雪」を「上越市ブランド戦略」の中核イメージとして扱うなど、雪国の暮らしそのものが、市民共有の「景観資産」として認識されています。



## 実践

### 景観資産を大切にしている取り組みの実践

取り組みの実践は、大切な「景観資産」を、未来を担う子供や孫たちの世代に引き継いでいくことです。

それと同時に、上越市を訪れる人たちに対する「おもてなし」の視点に立って、地域の魅力を引き出す工夫が大切です。

先ずは、自分たちが「上越市の景観をつくっている」ということを意識して、家の前をきれいにし、草花を大切にするなど、一人ひとりにとっての身のまわりを心地良くしていく試みからはじまります。

#### 市民の取り組み

- 自らが景観づくりの主体であることを認識し、地域の特性に配慮した景観づくりに努める。

#### 事業者の取り組み

- 自らの事業活動が地域の景観に強く影響を及ぼすことを認識し、事業活動を行うにあたっては、景観づくりに最大限の配慮をする。

#### 市の取り組み

- 景観づくりに関する基本的かつ総合的施策を実施する。
- 公共施設の整備を行うにあたっては、景観づくりに先導的な役割を果たす。
- 市民、事業者の皆さんが景観づくりに理解を深め、積極的に推進できるように景観意識の高揚や支援に努める。

## 検証

### 実践結果の検証

景観そだてを持続的につなげるために、実践結果を検証し、改善や新たな取り組みへ誘導します。

## 参加

### 景観セミナー

上越市では、景観づくりに対する意識高揚、知識向上のため、「景観セミナー」を開催しています。

- 平成21年度は、「発見！ 市民みんなの宝物」と題し、景観計画の紹介や、自分がよいと思う上越の景観についてパネルディスカッションを行いました。
- 平成22年度は、「地域の宝物を活かした景観づくり」と題し、頸城区のお宝である瀧本邸とその保存活動を通じて景観づくりについて考えました。

皆さんも、ぜひ参加してみませんか。



市では随時、皆さんの発見した景観を募集しています。気軽にメール等でお寄せください。

なお、上越市景観計画は、市のホームページからご覧いただけます。



景観セミナーの様子（H21）



瀧本邸（頸城区）